



請願第2号

2024年9月9日

町田市教育委員会教育長 様

町田市の第一期からの統廃合計画の見直しと南成瀬小学校の存続を求める請願

住 所

連絡先

氏 名

(請願の要旨)

- ① 町田市の他地域（第二期以降）の統廃合計画の見直しがされています、第一期からも同様に見直しを求める。
- ② 南成瀬小学校の校舎を改修、補強工事をして、学びの多様化学校として使用できるのであれば、単学級、複式学級もしくは生徒がいなくなった時点で、校舎の利用を検討しはじめてください。

(請願の理由)

7月30日付で、学校教育部教育センターから「学びの多様化学校の設置について」のお知らせがありました。南成瀬小学校の校舎を利用して、不登校児童生徒の学びの場の確保を目的とした多様化学校を設置するそうです。

しかし、施設の老朽化により建替えをしなければいけないと言っているのに、改修、補強工事をして多様化学校として校舎を使用するということですが、安全性は大丈夫なのでしょうか？ 多様化学校の生徒達は、安心・安全に学べるということでしょうか？

そして、改修、補強工事をして使用することができるのであれば、南成瀬小学校として今まで通り存続できるのではないでしょうか？

児童生徒がゼロになり、その校舎を使用して多様化学校が開校した例もあるようですが、南成瀬小学校には今も12学級、341名もの生徒たちが通っています。たくさんの子ども達が学んでいる学校を廃校にして多様化学校にするということは、町田市は南成瀬小学校で学んでいる生徒の学びや気持ちをないがしろにしています。

そして、町田市の他地域では、統廃合の延期や見直しを検討しているのに、第一期統廃合のみ急いで予算を付け、工事を強行しようとするのはなぜなのでしょうか？

8月27日にPFI工事の予算増額が決定されたそうですが、随意契約、更に予算を32億円も増額し、たくさんの税金を使用して、1つのPFI事業者との契約を推し進めるのはどうしてですか？ 落札価格が下がっているならまだしも、工事労務費が急激に上昇し、落札価格が上がっている中で、急いでこのPFI事業者と契約を結び、これほどまでに工事を強行しなければいけない理由を教えて下さい。

- ① 急激な施設整備費の高騰などの環境変化で、第二期以降の計画が見直しされています。同様に第一期からの見直しを検討して下さい。
- ② 改修、補強工事をして校舎が使用できるのであれば、今いる南成瀬小学校の341名の生徒たちを大事にして存続させる方法を考えて下さい。

以上のことから、町田市の第一期からの統廃合計画の見直しと南成瀬小学校の存続を求める。